

令和8年度鹿沼市緑の少年団育成補助金交付について

鹿沼市では、森林環境譲与税を財源として、子どもたちを対象とした木や森にふれあい親しむ活動や森づくりの体験学習活動など森林の大切さの理解促進を図る取り組みを行う緑の少年団に対し補助金を交付します。

令和8年度の交付を希望する学校は、提出期限までに必要書類一式を鹿沼市林政課まで提出してください。

記

1 事業内容

- (1) 森林環境学習フィールドの整備
学校林や学校周辺の森林など身近な環境学習フィールドの整備経費
(森林体験学習のための樹木名板・簡易標識・観察歩道・観察園等の設置及び学校林等の植栽)
- (2) 森林教室及び森づくり体験活動の実施
- (3) 森林環境学習指導者の派遣
- (4) 森林環境学習推進のための普及啓発(森林環境学習活動資材購入や資料等の作成経費)

2 対象経費

報償費(講師謝礼等)、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料、賃借料

対象外のもの

- ・汎用性の高い物品等購入費
例:飲食費、茶菓子代、職員人件費、修繕費、電動ノコギリ・電動草刈り機・生垣バリカン等の消耗品購入費など
- ・少年団の活動と認められない経費
例:森林ではない場所での活動(田んぼや川などでの環境学習、花壇整備、農園活動など)

3 予定補助額

1校あたり 50,000円を限度とします

(申請件数や事業計画の内容により補助額を減額する場合があります。)

4 採択基準

- ・子どもたちの緑や自然を守り育てる心を養うことにつながる活動であるか
- ・森林の有する資源や公益的機能が自身の生活に恵みをもたらしていることの一につながる活動であるか
- ・活動に真に必要な支出計画であるか

5 提出期限

令和8年5月27日(水)

6 書類提出・お問合せ先

鹿沼市経済部林政課木のまち推進係 担当:入山

〒322-8601 鹿沼市今宮町1688-1

TEL:0289-63-2186 FAX:0289-63-2189

Eメール:rinsei@city.kanuma.lg.jp

記入例

様式第1号（第6条関係）

補助金等交付申請書

校長先生の個人印を
押印してください。

令和 8年 5月 15日

鹿沼市長 宛

住 所 鹿沼市今宮町 1688-1

申請者 団体名 鹿沼市立〇〇小学校緑の少年団

代表 校長 〇〇 〇〇 印

電話番号 0289-63-2186

鹿沼市緑の少年団育成補助金の交付を受けたいので、鹿沼市補助金等の交付に関する規則第8条第1項の規定により次のとおり申請します。なお、申請に当たり、同規則及び鹿沼市緑の少年団育成補助金交付要領を遵守する旨を申し添えます。

補助事業の実施期間	令和8年6月 11日から 令和9年2月 28日まで
補助事業に要する経費の額	50,000 円
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書（様式第2号） <input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書（様式第3号） <input type="checkbox"/>
備考	

実施期間の開始日は、
令和8年6月11日（木）
以降で記入。

（注意事項）

- 「補助事業の実施期間」は、同一年度内の期間を記載してください。年度をまたいで補助事業を実施することはできません。
- 「添付書類」の欄には、添付した書類の口に✓を記入し、同欄に記載のない資料を添付した場合は、余白に資料の名称を記入してください。

※事務処理欄（申請者は、記入しないでください。）

受領日	決定日	通知日	検査日	請求日	支払日	【着手前申請型】 番号：
/	/	/	/	/	/	

様式第2号（第6条関係）

事業計画書

1 事業目的

森林の中で木や植物、昆虫などと触れ合うことで、森林が持つ機能や生命の尊さについて理解を深める。

また、木工体験を通じて、木材の性質や種類について学び、木の温もりを身近に感じることを目的とする。

2 事業計画

活動日	事業内容	詳細
6月、8月、10月 各1回	自然観察会	小学2年生を対象に、小学校付近の森林で集めた落ち葉や木の実でおもちゃを作り、班ごとに記録した自然観察カードについて発表会を行う。
11月	木工教室	小学6年生を対象に、地元の木工所へ講師を依頼し、木の棚づくりを行う。

3 予算額

50,000円

4 事業完了予定期間

令和9年2月28日

5 特記事項

記入例

様式第3号（第6条関係）

収支予算書

1 収入

区分	収入額	備考
市補助金	50,000円	補助率:定額 5万円
	円	
	円	
	円	
合計	50,000円	

支出の内容を具体的に
にご記入ください。

2 支出

区分	支出額	対象経費	備考
報償費	6,000円	○	木工教室講師謝礼商品券
通信費	1,000円	○	お礼状送付用切手代等
賃借料	18,000円	○	カンナレンタル(50丁)
消耗品費	25,000円	○	棚材料、発表用色画用紙等
合計	50,000円		

(注意事項)

- 「対象経費」の欄には、その支出が補助金の対象経費に該当する場合は○を、対象経費に該当しない場合は×を、それぞれ記入してください。
- 「備考」の欄には、内訳等を記入してください。

対象経費：賃金、謝金、旅費、通信運搬費、会議費（但し、茶菓子代は除く）、保険料、消耗品費、印刷製本費、使用料、賃借料等

※謝金等は、賞品券等領収書が確認できるものをお願いします。

（対象外経費）：職員人件費、備品購入費、工事請負費、汎用性の高い物品等購入費